

事務事業名	シルバースポーツ推進事業				担当	健康福祉部 福祉課 ねんりんピック推進係		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-81-3271		
施策名	05	高齢者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	全国健康福祉祭開催要綱(昭和62年10月17日厚生省発政第22号)					<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)		
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	社会福祉費	老人福祉費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 25 年度~ 26 年度)		
事業概要	ねんりんピックは、高齢者がスポーツを通じて健康の保持・増進と生きがいの高揚を図り、高齢者相互及び地域間の交流を促進することにより、明るく活力ある長寿社会を推進することを目的として毎年開催されている。平成26年度は栃木県で開催され、真岡市ではマラソン交流大会を実施した。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
26年度実績 ねんりんピック栃木2014 真岡市実行委員会事務局の運営 ねんりんピック栃木2014 マラソン交流大会開催に係る準備事業 ねんりんピック栃木2014 マラソン交流大会の開催 ねんりんピック栃木2014 に関する広報・PR事業		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
27年度計画 ねんりんピック栃木2014 平成26年度で終了		ア: PR回数	回			6	8	
		イ: 実行委員会開催数	回			3	3	
		ウ: 大会参加者数(代表選手)	人			0	251	
		エ: 大会参加者数(ボランティア)	人			144	163	
		オ:						
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
全国から参加する60歳以上の代表選手 大会に係るボランティア		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		ア: 代表選手数	人			0	251	
		イ: ボランティア数	人			144	163	
		ウ:						
		エ:						
		オ:						
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
ねんりんピックを通じて、高齢者の健康の保持・増進と生きがいの高揚を図る。		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		ア: スポーツを通じて健康の保持・増進が図られた高齢者の割合	人			100.0	100.0	
		イ:						
		ウ:						
		エ:						
		オ:						
④ 結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
高齢者相互及び地域間の交流を促進することにより、明るく活力ある長寿社会を推進する。		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		ア: 高齢者相互及び地域間の交流が図られた割合	%			100.0	100.0	
		イ:						
		ウ:						
		エ:						
		オ:						
(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	1,600	8,492	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	3,088	8,284	0
	事業費計(A)		千円	0	0	4,688	16,776	0
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	1	2	0
		延べ業務時間	時間	0	0	2,600	4,680	0
		人件費計(B)	千円	0	0	10,566	19,754	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	15,254	36,530

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か? いったいどんな経緯で開始されたのか?	平成23年6月に実施された、ねんりんピック栃木2014の開催意向調査に対して、真岡市はマラソン交流大会を希望し、同年11月の基本構想策定委員会で開催が決定した。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 全国から選手を集めて開催することは、市のPRにも繋がるため、結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の健康保持・増進を図るため、毎年開催されている全国大会であり、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 代表選手とボランティアを対象とし、高齢者の健康の保持・増進と生きがいの高揚を図ることを意図しており、妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 大会を通じて、高齢者相互及び地域間の交流が図られており、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 代表を目指す高齢者の健康の保持・増進と生きがいの高揚を図ることができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の経費で運営している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で対応している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 各都道府県から選出された代表選手が参加している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							